

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1.基本情報

選定年度	令和5年度		学校コード	F102310100603
大学名	青森大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	青森県
大学全体の総収容定員数	1,340 名	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	総合経営学部（経営学科）、 社会学部（社会学科）、 ソフトウェア情報学部（ソフトウェア情報学科）、 薬学部（薬学科）			

2.事業概要

青森大学（以下、本学という。）では、スマートシティの実現に必要な基礎知識・専門知識を集約し、大学等を核とした産学官連携の共創の場として、持続的活動を担う次世代人材の育成、DX化への早急な対応と日本国内での理系人材の慢性的な不足を解消していくため、入学定員70名、収容定員280名からなるソフトウェア情報学部を令和8年度より20名の入学定員増を行い、特定成長分野に関する内容を強化するための社会のインタフェースを構築するコース等を新たに開設する予定である。 具体的には、① 情報工学を主体とする知識の修得、情報の蓄積 、② 本学の青森キャンパス、東京キャンパス、むつキャンパスの異なる地域ニーズに対応した地域課題の解決 、③ 文理融合型の教育と地域連携を組み合わせ地域力を活かすチーム体制 。この3点を柱とし、本学を工学に関するイノベーションのハブとして社会のニーズを捉え、地域の課題を解決していく人材を育成していくカリキュラム体系などを構築し、農業、高齢者支援、GXなどの研究とITなどの特定成長分野の内容を掛け合わせ、本学の理念である「地域とともに生きる大学」、本学学長が掲げる「学生が輝く大学」として地域の課題を工学的な視点などから解決できる人材を育成し、地域課題を解決していくサイクルを回していくことを目指す。
--

3.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和8年度					
認可申請・届出予定	令和7年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	既存学部の収容定員の増加					
設置等組織名	ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科					
設置等組織の学位分野	工学関係					
当該学部等の所在地	青森県青森市、東京都江戸川区、青森県むつ市					
入学定員	70 名					
収容定員	280 名					
入学定員の増加数	20 名					
他学部等の入学定員の減少数	0 名					

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。
※入学定員には編入学定員を含む。

<基本情報>

改組予定年度：令和8年度

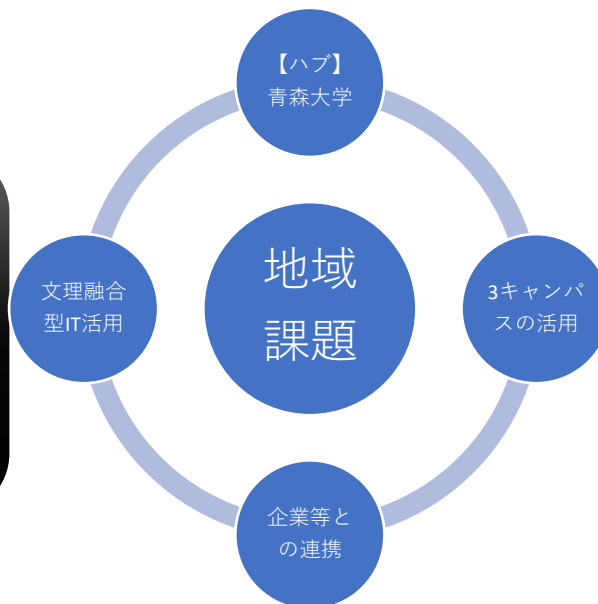
改組内容：既存学部 of 収容定員の増加

設置等組織名：ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科

入学定員：【R8増員】改組前70名 → 改組後90名

所在地：青森県青森市、東京都江戸川区、青森県むつ市

【コンセプト・イメージ図】



【青森大学改組の特徴】

新たに特定成長分野に関する内容を強化するための社会インタフェースを構築するコース等を設定し、以下の特徴を活かした教育を展開していく。

- ①情報工学を主体とする知識の修得、情報の蓄積
- ②本学の3キャンパスの異なる地域ニーズに対応した地域課題の解決
- ③文理融合型の教育と地域連携を組み合わせ地域力を活かすチーム体制

【支援事業の目標】

- ・ソフトウェア情報学部を工学のイノベーションのハブとした人材育成
- ・農業、高齢者支援、GXなどの研究とITなどの特定成長分野の内容を掛け合わせた地域課題の解決
- ・地域の課題を工学的な視点などから解決できる人材を育成し、地域課題を解決するサイクルを回していく

【連携を通じた教育体制の整備】

- ・徹底したプログラミング教育を中心にITスペシャリストを育成
 - ・初心者から経験者まで確実にフォロー
 - ・地域・社会と連携した学びの場での活動
- 上記に加え、
- a) 地域差を含めた地域の深い理解
 - b) ICT活用
 - c) チームでの実践を学修目標
- これらについて、自治体、企業、連携校等と連携して、教育体制を整備していく。

【多様な入学生の確保戦略】

- ・入学者選抜に関して社会のニーズ等を踏まえた見直し
- ・地域の初等中等教育段階の学校と連携した出張授業や教育関連イベント等を通じた本学の特定成長分野の人材育成における魅力等の発信
- ・社会人を対象とした、特定成長分野の内容を含んだリカレント教育、リスクリングの推進
- ・在学留学生の声などを参考に、出口の保証、本学の魅力の発信等をふまえた留学生戦略